

名古屋学院PTA会報

発行 名古屋学院PTA
名古屋市東区砂田橋
2丁目1番58号
電話(052)721-5271番
http://www.meigaku.ac.jp/

Withコロナサにより 得たものとは



PTA会長
高岡 誠

まずは保護者の皆様、学校関係者の皆様には日頃より本校のPTA活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。PTA会長として厚くお礼申し上げます。また、PTA役員の皆様には常日頃より多大なるご尽力をいただき大変感謝しております。

この度、ご子息が卒業を迎えられる保護者の皆様、誠にありがとうございます。

丁寧なゆくりと 時間をかけて



学院長
横山 良樹

コロナウイルス感染症に揺れる日々、PTAの皆さまには2021年度も本学院の働きに心を寄せて頂き、ご理解、ご支援を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げます。PTAの活動がこれからも主の祝福のもとに進められますよう、お祈りいたします。

今年から成人が18歳で祝われるようになりました。かつては12・16歳が元服（成人）の年齢でした。何歳から大人かという基準は時代によって動きます。生物学的には、大人になるとは子孫が残せるようになることです。人間の場合、親離れして経済的・精神的自立をすることがひとつの指標でしょう。それは社会に参与することと密接に関係しており、現代のように高度に情報化された産業社会では、長い期間にわたる学習が

二〇二二年度 主題聖句 鉄は鉄をもつて研磨する 人はその友によつて研磨される

箴言 27章17節

早いもので今年も卒業シーズンを迎えることとなりました。この年を振り返れば昨年に続きコロナウイルスにより今まで普通に出ていた学校活動、PTA活動が出来なくなり、この一年もコロナウイルスに振り回された年でした。そのような中、2021年に日本で久しぶりに夏季オリンピックが行われました。オリンピックの候補地として決まった時にはまさかこんな事態になることは想定されておらず、全くの想定外の中で行われたオリンピック、日本の運営委員会（選手ファースト、ONE TEAM）（自己犠牲、他人を思いやる精神）となつての異例のオリンピック運営を無事に終えることが出来ました。今、このような時期に行われたこのオリンピックで皆さんは、オリンピック会場、メディア、新聞紙上を通して見聞きし、学んだ

このONE TEAMの精神を持つて、これから迎える社会において臨機応変に対応していく術を養う良い機会であつたと思います。ただ、一方で本来の学びを体現する学校行事の機会が失われたのもこのコロナウイルスです。貴重な高校3年間の内の学びの体験が出来たであろう2年間のコロナウイルスで失つたのは非常に悔しいところではあります。このWithコロナの中、皆さんが得ることが出来たものもあるかと思ひます。これから皆さんは常に前向きで且つ、プラス思考でこれから迎えることとなる社会に羽ばたいて行つていただきたいと思ひます。

不可欠となります。こういう場合に用いられるのが教科書です。そこには古今東西の学問の成果が記されており、それらを通してわたしたちは世界の成り立ちや、文化や伝統にふれることになります。こうしたいわゆる教養は物事を偏りなく見るために必要です。そして旅行に地図やガイドが必要のように、独り立ちして人生という大航海時代に挑むには羅針盤となるものの獲得が望まれます。宗教教育はそのためにあります。それは、わたしたちの生きる意味と目的に関わる軸を指し示すものだからです。

最後にありますが、保護者の皆様、本校の先生方や関係各位の皆様のご健勝とご多幸と本校を卒業する生徒皆様の今後の活躍を心よりお祈りいたします。

皆様への感謝を忘れず、 希望をもつて明日に進みたい



校長
加藤 与仁

コロナ禍が2年余りも続くなか、本校の様々な学校活動の継続に、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度も、みなさんの温かいご支援

の下、一年を過ごすことができましたこと、重ねて御礼申し上げます。

今年度は昨年以上に、感染症とどう向き合いながら学校活動を進めていくか、そして、様々な学校変革の波にどう対応していくか、を迫られた年でした。特に、昨年度のコロナ禍における休校や自粛生活をせざるを得ない中で、子供たちの「学びの保障」をどう守っていくかは、日本国中に突き付けられた最も大きな課題の一つだと思ひます。特に私自身もICT化が世界的に見て日本は遅れているという報道はショックでありました。その後、官公庁や企業など大胆にICT化を進めていく、リモートで対応できるような社会を早急に構築していくという動きは、早急すぎると思ひつつ、致し方ない思いで対応をせざるを得ませんでした。政府や文部科学省からはGIGAスクール構想を中心として頻りに通達が行き渡り、財政的な問題については国が保証するので、早急な導入と具体的な活用方法や実践は現場で速やかに対処していくように、とも思ひます。内容に閉口しつつ、本校も生徒端末の導入や授業などの学校活動での活用について模索しながら進めてきました。みなさんからも多くの意見が寄せられておりますが、その場対応や未解決なまま進んでいることが多く心苦しく思ひます。私たちがどうしても不得手なことが多く、その中で出来る限りの対応をしていることに、ご理解、ご協力をいただけたら幸いです。

また、大学受験での共通テスト導入に始まり、小中高での授業形態の変革、成績評価基準の改訂などは、生徒らに主体的や積極的な学びを促し、コミュニケーション能力を根幹とした協調性や対話力などの育成、より深い学びを実践させることを学校だけでなく保護者のみなさんにも社会の変革を求めていることとあり、コロナ禍対応に追われる中でも着実に進めていかなければならない大きな課題といえます。学校だけでできることではなく、保護者の皆様の関わり方も重要になってくると思ひます。どうか協力をお願いいたします。

最後になりますが、今年度も感染症対策で制限させていただく中で、PTA活動の多くを進めていただき、心より感謝申し上げます。朝の来ない夜はない、という文豪の言葉があります。以前の「密」なPTA活動に戻る事ができることを願つてやみません。

クライズス・システムズ 佐藤 涼子

コロナ禍での クライズス・システムズ 活動報告

今年度のクライズス・システムズは35名の部員でスタートしました。

昨年同様緊急事態宣言の発令と共に、例年行事である中高2学年集会、PTA総会における部員募集お願いの発表はできませんでした。

コロナ感染状況も5・6月に入ってから少し落ち着きを見せ始め、中のお母様方4名が入部して来られ、とても心強い思いでした。

それに増して7月17日にはサマーコンサートが開催される事となり、練習不足ながら参加致しました。また、11月13日にはチャペルコンサートにも「密」を避けるながらマスク着用で参加させて頂くことができました。いずれもコロナ禍での練習不足ではありましたが部員一同



久しぶりにコーラス仲間とのふれあい、歌う事の楽しさを改めて実感しました。コロナ禍で大変な状況にも関わらず温かく見守り支えていただいた学校関係者の皆様方のおかげと部員一同感謝しております。ありがとうございます。

子供たちが安心して健康で学業に専念でき、コロナが終息してくれる事を心から祈っております。

※コロナウイルスの影響で現在は練習をおこなっておりません。

ガーデニング クラブ 森 良美

お花をとおして、 子供たちへメッセージを

中学に入つて間もない頃「お母さん、今日のお弁当は何？ハンバーグ？やっ！ー！楽しみー」なんて、毎日のように声をかけてきた息子。いつの頃からか「明日は、弁当なしね。」なんて、ただの連絡事項のようになっていました。

年々二人で解決していくことが増え、だんだん大人になっていく姿をうれしくもあり、「毎日」体どんな事を考えているんだろう...と、はたまた距離を感じて寂しくもありました。そんな毎日を送っている保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

そうした時、お花と男の子達を同じ環境の保護者の方達と一緒に育てていくことで、お互い楽しく分かりあひ、また、色々な相談ができる貴重な時間になっています。

また、このガーデニングのボランティア



活動によって、たとえ間接的ではあつても、お花をとおして子供たちへ何かメッセージを届けていたと思ひます。

いつの日か、「お母さんが育てたあの狭き門の『ひまわり』、実は僕、好きだったよ。めっちゃ暑い中、毎日元気に咲いていたよね。」なんて、メッセージが、返ってくる時が来るかもしれません。

「生活部だより」

コロナ禍での活動

内藤宝珠江

生活部の主な活動として、愛校祭での模擬店、私学協会父母の会の「愛のパトロール」への参加があります。残念ながら昨年同様、新型コロナウイルスの影響により中止となってしまいました。日々コロナウィルスの感染状況が変わって行く中で、昨年から行っ



ているグッズ販売であれば行えるのか。どれくらいの規模であれば対面販売ができるのかなど、小澤先生と相談しながら、第1回目は抽選販売という形でいい、第2回目にチャペルコンサートでの対面販売を行いました。



「学際部だより」

ダニエル・カールさんをお迎えして

黒田由美子

今年度の学際部の企画講演会は、山形弁研究者でタレントのダニエル・カール氏をお招きして開催されました。コロナ禍での開催、不安の中、考



え付く限りの対策をして準備をすすめてまいりました。このようなご時世にも関わらず、当日はたくさんのお客様がいらしてくださいました。

した経験を山形弁訛りでユーモアを交えながら、楽しく語ってくださいました。そして「自慢」と「謙遜」のバランスについて触れながら、謙遜ばかりではなく、もともと自慢している、日本のいいところ、家族のいいところ、胸を張って伝えていこうとエールを送ってくださいました。このエールにお客様も私どもも元気をもらいました。

「文化部だより」

コロナ禍に癒しの音楽を

大石智己

11月13日にチャペルコンサートを開催しました。チャペルコンサートは近隣の方々に名古屋中高を見て頂く機会でもあります。

バリアフリーではないチャペルで転倒される方がおられるので、楽し



い気持ちで帰って頂く為に文化部員は目を配っています。「この階段が登れるうちは観に来ます。」と仰って下さる方もいらっしゃいます。ゲストの赤崎真由美さんが今年度も快く受けて下さった事、天気が良く暖かい日で沢山のお客様が来て下さった事、部員皆がテキパキと率先して動いてくれ、OGさんもお手伝いに来て下さった事、誰一人けがなく笑顔で帰られた事、全てに感謝の気持ちです。感染者も劇的に少ない時で、大盛況の大成功でした！

残念な事に私たち文化部員は、ゆっくりステージを観れないのです。来年度は2階の役員席に座って、ゆっくり堪能させて頂きます！

「厚生部だより」

2度目のリサイクル抽選販売

若山好美

厚生部は毎年恒例のリサイクルバザーを愛校祭にて開催しております。今年度は新型コロナウイルスの影響で愛校祭が中止となりましたが、昨年同様応募抽選販売という形で販売させていただきました。

9月に募集した結果、総数179名という多くの方々に応募いただき、抽選の結果10月に103名の方々に届け出すことができました。サイズやカラーによってはご希望に添えないこともあり、ご迷惑をおかけいたしました。

この抽選販売の売上金は、テント購入とあしなが学生募金に寄付させていただきました。卒業生・在校生の保護者様にはご息が大切に使用された品々をご提供いただきまして、心よりお礼申し上げます。

来年度以降は、どのような形で販売になるかは今のところ未定ですが、例年通りのリサイクルバザーを開催できること祈っています。なお、リサイクルの品々は常時事務局で受け付けておりますので、ひきつづきご協力をお願いいたします。

最後に、お世話になりました大蔵先生、太田先生をはじめ事務局の皆様、心よりお礼申し上げます。また、30名の部員の皆様と活動をご一緒できましたこと、深く感謝申し上げます。



「教養部だより」

「楽しくPTA活動」を

足立幸子

例年、教養部の主な活動は、愛校祭での「お茶処」です。お抹茶と「福田屋」の饅頭の提供を長年引継ぎ、癒しの場所としてきました。

今年度は、癒しの場所となる何かを開催することを検討してまいりましたが、愛校祭中止により、寄贈することになりました。12月に玄関ホール

の柱にドイツのヘルムレ社のホールクロックを設置しました。素敵な音色で、生徒も早速覗き込んでいました。振り子や錘、文

